

今月の推薦句

山田真砂年選

藁の火の賛をつくして初鰯

大坪正美

柚子忌やさはさは揺るる今年竹

飛田小馬々

龜や何処にも行かぬ旅鞆

上田信隆

シーツ干す母の背伸びや朱夏の風

伊藤 翠

ここよりは私有地竹の皮を脱ぐ

張本弘子

マスクした写真ばかりやさみだれる

牧園 賀

五枚より遺影選びぬ沙羅の花

林 恵美子

枇杷すすり柚子師の句の口を衝く

浜田優子

吹かれ来しノートの上の子かまきり

細井恵子

駒が嶺の水音の透けし谷若葉

丸山時子

余生にはまだ余白あり半夏生草

関口敦子

山城を目指す歩幅や著莪の花

矢代靖子

父の日や銃を手に取ることもなく

大坪正美

麦秋のまん真ん中に戦あり

小見戸 実

万緑や絵本のやうな椎古木

飛田小馬々

秋深し鉛筆が好き消えるから

今井 基

直角にくちなは曲がる怖さかな

滝代文平

万緑や風土記の里のカレー蒿麦

中村晃也

万緑や延命水に大柄杓

相馬ゆう子

光跡は傷にも見えて流れ星

中村かりん

噴水の高さ変はれば子の声も

林 恵美子

麦畑風の曲がりし跡ありぬ

池田角之助

天城路に滝の音あり空があり

石関二三子

春愁や背のスイッチを押してくれ

戸上晶子

子雀の囀るそこは鬼瓦

大和田美和子

芍薬の蕾の蜜のキラキラと

瀧本 萌